

小林協力共同組合工場を
訪ねて

株式会社

大和木型

—その17—



(株) 大和木型製作所
概要
和久田三郎
富士市大渕2470
昭和18年7月
120万円
従業員数 18名

やつております。

また、いくらオートメーション化しても、木型というものは、やはり原始的であるという事に変わりはないと思いますが、その中で改善できるものは、改善していきたいと思います。

たとえば、木は、それぞの条件によって、くるいを生ずるものですから、それに代わる樹皮型とか、ハッポースチロール等をうちでは使っております。ハッポースチロールなんかは、砂ぬきもいらなく、一パツでは大へん便利ですね。

反面、細かいものとか、数の多いものなんかはダメですが、そういう事では、たえず研究しております。

「昔からずっと木型が使われて、これからも木型が使われるようになりますか。」

それは、木型が一番手に入りやすく、工作、加工しやすい事と、単価が安い事ですね。樹皮なんかも、単価も安く、長持ちして、數ものにはいいですね。

単バツものでは、木型が一番いいでしょね。



「ことわざ質問」

つぎの「ことわざ」はどのような意味ですか？

イ 合縁奇縁

ロ 相手変われど主変わらず

(答は8ページ)

れをなんとか短かくする方法や、

家内になるのを防ぐため、営業

を広めたり、高賃金を出して、若

い人を育てたいと思いませんね。

現場には、男ばかりですが十八

人いて、富士地区では一番多いん

です。

女性が一人で、事務をやつてお

りますが、時には現場に出て、や

さしい物なら図面を見て作る事も

できますね。

「こうで、話は変わりますが、

従業員の方々は何人くらいおられ

ますか。」

女性が一人で、事務をやつてお

りますが、時には現場に出て、や

さしい物なら図面を見て作る事も

できますね。

「どうぞ、話は変わりますが、

従業員の方々は何人くらいおられ

ますか。」

女性が一人で、事務をやつてお

りますが、時には現場に出て、や

</div